

救急科・集中治療部

専門領域

救急医療；一次、二次、三次救急、いわゆるプライマリーケアから心肺停止例の蘇生、重傷外傷の初期治療を含む
重症例の集中治療；人工呼吸器、循環系作動薬の使用、血液浄化などを含む呼吸循環管理の実際。

後期研修プログラム概要

- ・大学院コースは4年間とし、基礎系教室での研究を主とする。
- ・研究生コースは2年間とし、市中病院での救急診療を中心とする。
- ・大学病院コースは2年間とし、主に附属病院での救急外来、集中治療部での診療にあたる。

モデルケース

1. 大学院コース（4年間）

- ・平日中は、基礎系教室での実験、研究に専念。
- ・医員として、休日と夜間は救急科診療。（月3～4日）
- ・土曜、日曜の市中病院での兼業可。
- ・救急医学会、集中治療医学会認定資格取得可。

2. 研究生コース（2年間）

- ・市中病院での救急部・集中治療部業務。
- ・可能なら、麻酔科と合同の診療。

3. 附属病院コースⅠ（2年間）

- ・附属病院の救急科・集中治療部勤務。
（平日日中の救急科・集中治療部での診療と学生の臨床指導
医員として週4日勤務、夜間・休日は月3～4日）
- ・ACLS、JPTEC、JATEC への参加、指導を通じて心肺蘇生、救急外傷への対処を習得。
- ・臨床麻酔を通じて蘇生の基礎技術の習得。
- ・救急医学会、集中治療医学会認定医資格取得可。
- ・他の臨床科との兼務も可。
- ・市中病院での兼業可。

4. 附属病院コースII（半年から1年間）

- ・基本的には、臨床麻酔以外は「附属病院コースI」と同様の勤務。
- ・各人の希望する専門臨床科（外科、内科、その他）の研修途上でプライマリケアや重症の合併疾患を持つ患者さんのケアを経験するための短期コース。

5. 救急医養成コース

- ①小児救急コース及び小児救急患者管理コース（PICUコース）
- ②救急総合診療コース
- ③救急遠隔医療コース（iPad等の使用による遠隔医療の実現）

なお、本補助事業における研修内容は、必要に応じ、医学部学生教育や医学部学生病院救急医療実習・研修、卒後臨床研修にも幅広く活用する。

本コースは、北海道救急医養成促進事業費補助金を受けたコースです。

| | | |
|---------|-----------|-----------------------------|
| 連絡先／担当者 | 職・氏名 | 救急医学講座 |
| | 教授 藤田 智 | |
| | 准教授 小北 直宏 | |
| | 電子メール | sfujita@asahikawa-med.ac.jp |
| | 電話 | 0166-68-2852 |